

御前谷ポンプ場 マンホールポンプ化検討業務 特記仕様書

1. 適用範囲

本特記仕様書は、「令和8年度 御前谷ポンプ場マンホールポンプ化検討業務」に適用する。

2. 業務目的

御前谷ポンプ場は全体計画汚水量が3m³/分以下となっており、マンホールポンプの適用範囲となっている。本業務では、マンホールポンプ化を行う上での課題を整理し、対策検討を行う。また、検討を行う上では直近のポンプ更新や将来的な再構築を見据えた検討を行う。

表：施設概要

| | |
|-------------------|--------------------------------------|
| 施設名称 | 御前谷ポンプ場 |
| 所在地 | 中央区佐鳴台六丁目 6-1 |
| (全体計画)時間最大 汚水量 | 1.53 m ³ /分 (予備含み 2 台) |
| 既設ポンプ能力 | 2.8m ³ /分 (予備含み 3 台) |
| 排除方式 | 分流式 |
| 供用開始年 | 昭和 50 年 |
| 排除面積 | 88.1ha |

3. 提出書類

(1) 提出書類は、下記の通りとする

- ・ 着手届
- ・ 業務計画書
- ・ 業務責任者（管理技術者）の届出
- ・ 業務工程表
- ・ 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了証の写し

(2) 業務計画書の記載事項は、下記を参考に記載する。

- ① 業務概要
- ② 業務(調査)目的・内容
- ③ 業務工程表
- ④ 組織表
- ⑤ 緊急連絡表
- ⑥ 安全計画
- ⑦ その他必要事項

4. 業務内容

(1) 計画準備・資料収集

マンホールポンプ化を検討する上で、必要となる資料及び情報を収集・整理し、施設の現状を把握する。

(2) 流量計測工

調査対象区域を3ブロックに分け、ブロックごとマンホール内に計測器を設置し、流量の実測調査を行う。調査期間は90日間とする。巡回点検は、15日以内に1回のサイクルで実施する。調査範囲及び設置場所は、別紙1位置図参照。設置場所は現地調査を実施した上で決定する。

(3) 降雨観測工

流量計測工と同時に、雨量計を御前谷ポンプ場内に設置し、降雨量を測定することで、流量と降雨量との相関関係を調査する。調査期間は90日間とする。巡回点検は、15日以内に1回のサイクルで実施する。設置場所は、別紙1位置図参照。

(4) データ等の集計・解析

流量計測工、降雨観測工それぞれのデータの集計・整理を行う。その結果により、特性分析(不明水量の算定、地下水量の算定、雨天時浸入水量の算定、晴天時平均流量、ブロックごとの流量の算定)を行い、流量が多い区域の特定および原因の追究を行う。また、データ解析に基づいた現地状況の確認も行う。

(5) 対策検討

対策検討においては、ポンプ更新時のダウンサイズや再構築としてのマンホールポンプ化を考慮したバイパスルート等の検討を行う。バイパスルートについては別紙2の既設管を現地調査し、図面との差異や使用状況等を確認する。その上で揚程等を踏まえた接続方法を検討し、概略図を作成する。また、流量計算にて流下能力を確認し、

排水可能量を検討する。バイパスルートに排水したとしてもポンプのダウンサイジングが困難な場合はボトルネック箇所を洗い出し、増補管等の差分解消できる方策を検討する。

5. 報告書作成

これまで検討した内容を取りまとめ、報告書および報告書の概要版を作成する。

6. 打合せ協議

打合せ協議は、初回・中間2回・最終の計4回を行うものとする。協議結果については、議事録を作成して発注者の確認を受けるものとする。

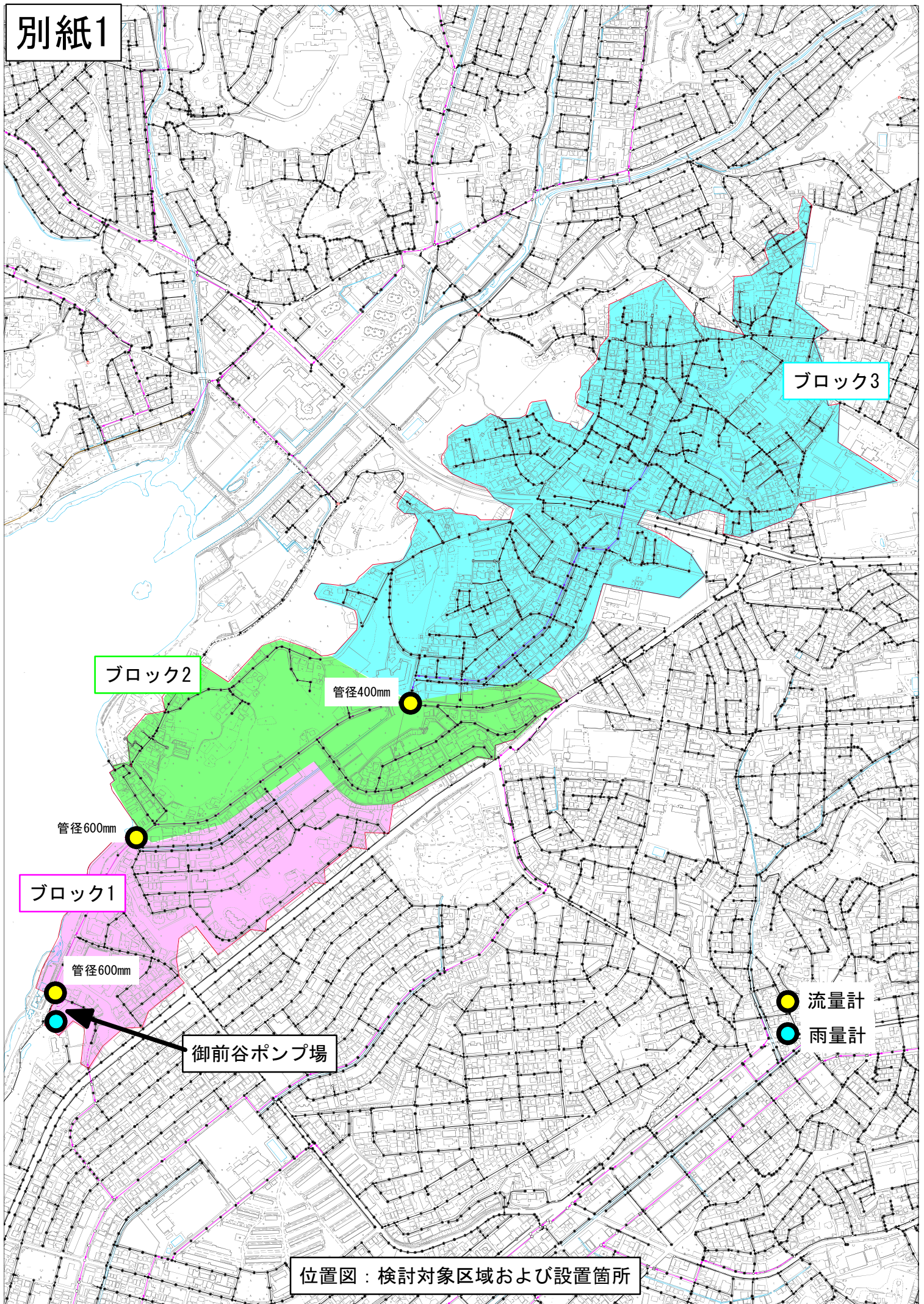
7. 成果品

成果品については、次に示すとおりとする。

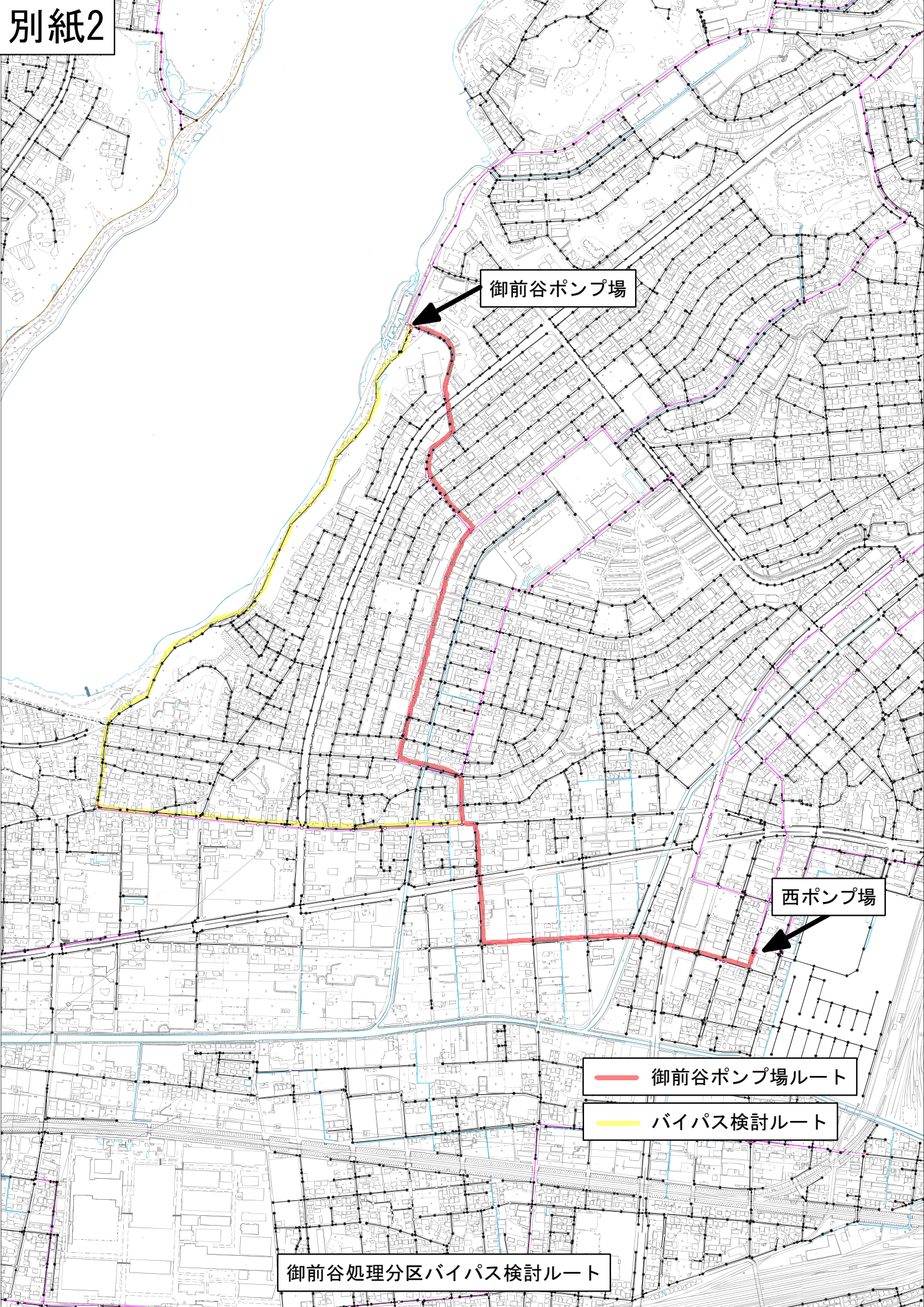
- | | | |
|------------------|------------|----|
| (1) 報告書 | A4版 | 1部 |
| (2) 報告書（概要版） | A3版 | 1部 |
| (3) 打合せ議事録 | A4版 | 1部 |
| (4) 上記図書の電子媒体成果品 | CD-RまたはDVD | 1式 |

合わせて、業務完了報告書を提出すること。

別紙1



位置図：検討対象区域および設置箇所



御前谷ポンプ場

西ポンプ場

御前谷ポンプ場ルート

バイパス検討ルート

御前谷処理分区バイパス検討ルート